

中間試験を終えて

中間試験が終わりました。今回の中間試験に向けての取り組みはそれぞれどうだったでしょうか。フォーサイトを見ていると、今回は熱心に取り組んだ生徒と、そうでない生徒にはっきり分かれたように思いました。また結果を踏まえ、取り組みの自己評価をしていきましょう。運動部の生徒は、南部大会が中止になり、悔しい思いをしていると思います。しかし、ここで生まれた2週間分の時間を有意義に使ってほしいです。ぜひ、この期間で以下のことを考えて、頑張ってください。

1) 生活リズムを整える

最近、フォーサイトを見ると、ほとんどの人が規則正しい生活をしていますが、生活リズムが大きく乱れている人(スマホやゲームのしすぎによる夜更かし等)も多く見られるようになってきました。生活リズムが乱れると、体調を崩したり、集中力がなくなったりと学習の効率が低下します。また、授業中眠くて授業に集中できないといったことになってしまいます。もう一度自分の生活リズムを振り返ってみましょう。

2) 計画的に学習を進める力をつける

どんなこともコツコツと継続することが大切であり、学習も同じです。今週は15時間勉強したが、次の週はまったくしなかった…では力がついていきません。そのためにも、フォーサイトで計画を立てて学習するなど、1日の生活サイクルを安定させていきましょう。

3) 進路についてじっくり考える

1回目の進路希望調査を書く際に、今後の進路について保護者の方と一緒に考えたことと思います。これからオープンスクールなどで得た情報や実力テストの結果等をふまえて進学先をさらに絞っていくようになります。その中で、大切にほしいことが、将来までを見据えて進学先を考えてほしいということです。将来自分はどんな仕事に就きたいのか。そのためには、どういった勉強が必要なのか。どんな資格を取ったら良いか。中学校卒業後はどんな進学先があるのか。といったように中学校卒業後の進路だけではなく、将来を見据えて考えてほしいと思います。また、自分自身だけで決めるのではなく、じっくりと保護者の方と相談をしましょう。先輩の意見や情報も役立ちます。

4) 社会情勢(政治・経済・国際社会・地域等)に目を向ける

みなさんはあと数年で18歳になり、選挙権を得ることになります。これから自分たちが生きていく社会をより良いものにしていくためにも、しっかりと世の中の状況を知り、よりよい選択ができるようになってほしいと思います。そのためにも、今から世の中のことに目を向けていきましょう。また、これらのことは高校入試でも問われることがよくあります。情報を得る手段は新聞・テレビ・ラジオ・ネットニュースなどがあります。また、ネットニュース等、自分の興味のあるニュースに偏らないように広く視野をもつことが大切です。

保護者の方へ

★奨学金制度について

奨学金制度は、上級学校での学業を継続するために補助金を貸与する制度です。上級学校入学前に申し込みをして予約する制度が中学校での奨学金の手続きとなります。奨学生の採用は、学校生活をがんばっており、校長先生から推薦された生徒で、家計の収入面や学力などをもとに決定されます。(申し込み資格は、それぞれの奨学金制度によって異なります。)採用されると、奨学生本人に高等学校・高等専門学校の卒業まで貸与されます。一部給付型の奨学金もありますが、卒業後は、ルールに従って、返還しなければなりません。「あしなが育英会」、「広島県高等学校等奨学金」、「渋谷育英会」等があります。それぞれの案内が中学校に届きしだい、進路通信を通じてお知らせしますので、各学級担任に遠慮なくご相談ください。

【あしなが育英会】

①奨学生の資格・条件

保護者が病気や災害(道路上の交通事故を除く)、自死(自殺)などで死亡、または保護者が著しい障害を負っていて、経済的に苦しい家庭の中学3年生

②募集期限 1次 7月31日 2次 12月15日 3次 2月28日

③貸与額(月額) 国公立 4万5千円(うち 貸与2万5千円・給付2万円)
私立 5万円(うち 貸与3万円・給付2万円)

〒102-8639 東京都千代田区平河町1-6-8

【交通遺児育英会】

①奨学生の資格・条件

保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった家庭の中学3年生

②募集期限 第一次 8月31日 第二次 1月31日

③貸与額(月額) 奨学金 2万円, 3万円, 4万円から選択
入学一時金 20万円, 40万円, 60万円から選択(希望者のみ)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 <http://www.kotsuiji.com>